シルバー人材センター
シンボルマーク

ニュース ゆんたく

〈発行所〉
公益社団法人　沖縄市シルバー人材センター
〒904-2155 沖縄市美原３丁目１番１号
電話番号（098）929-1361
http://www.okinawasisi.com
７月末現在の会員数535人
（男性347人・女性188人）

熱中症予防・コロナ対策で就業環境を安全に
２年ぶりに安全・適正就業推進大会開催

安全・適正就業推進強化月間の取り組みの一環となっている「令和４年度シルバー人材センター安全・適正就業推進大会」が７月13日、シルバーワークプラザ２階大会議室で開催された。昨年度は、コロナ緊急事態宣言の再延長下で大会を変更縮小して「安全・適正就業推進会議」として開いたが、今大会は２年ぶりの大会開催となった。しかし、現下のコロナウイルス感染の急激な拡大を受け、行動制限がない中で感染対策を徹底して、参加人数を大幅に制限、役職員や草刈グループリーダーなど13人の参加にとどめた。大会は、仲宗根正史事務局長の進行で始まり、浜比嘉宗明副理事長が挨拶、続いて小橋川啓安全・適正就業委員長が事故状況を報告するとともに、事故防止やコロナ感染対策、熱中症予防について会員への周知徹底と就業安全への協力をお願いした。最後に「熱中症はこわくない」というタイトル付きの研修用ＤＶＤを視聴。スクリーンに映し出された映像を通して熱中症リスクとその対策について認識を深めた。（２面に関連）

シルバー人材センターの理念

- 自　主　自分のものとして考え
- 共　働　一緒になって働き
- 自　立　自分たちの力で育てる
- 共　助　お互いに助け合う

県連合も２年ぶりに安全・適正就業推進大会開催
当センターから小橋川安全・適正就業委員長らが参加

県シルバー連合主催の令和４年度シルバー人材センター安全・適正就業推進大会が７月５日、アイムユニバースてだこホール（市民交流室）で開催され、当シルバーセンターから小橋川啓安全・適正就業委員長や仲宗根正史事務局長、仲里栄信安全推進員らが参加した。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数の制限や開催時間を短縮して大会を簡素化。大会では、県シルバー連合事務局長による安全・適正就業状況報告の後、沖縄大学人文学部福祉文化学科教授の宮本晋一氏が「老けない人は何が違うのか」と題した講演があり、身体のトラブルやメンテナンスから長生き・健康寿命の延伸の秘訣などを語った。

シニア向け 特別入会相談会
シルバー人材センター連合主催

県連合主催の「シニア向け特別入会相談会」が７月６日、沖縄市農民研修センターで行われた。この日は、講演の第１部と当シルバー人材センターの入会説明会の第２部構成の相談会。第１部では、講師の水澤孝一氏（特定社労士）が「高齢者社会を快適に生きる年金制度の理解と働き方」について講演。第２部では、当シルバー人材センターによる入会説明会があり、入会や就業を希望する沖縄市在住の６名が参加。入会手続きやセンターの事業内容、具体的業務内容等について説明を行うとともに、質疑応答のほか相談なども受け付けた。

入会相談などについて説明をする瀬名波奈緒美サービス提供責任者

コロナ感染拡大で第５回理事会も「みなし決議」

コロナ感染者の拡大を受けて７月22日開催予定の第５回理事会は、第４回理事会に続いてみなし決議となった。「一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面でもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し左記の議案を決議した。

議案第１号「正会員の入会」について、８人（女性２人・男性６人）を承認。

その結果７月22日現在の会員数は５３５人（女性１８８人・男性３４７人）となった。

なお、６月の退会者は９人。

令和４年６月の主な実績では、会員数５２７人で９人の減（▲１％）、就業実人員２９９人で増減なし、就業延人員３２４１人で２２１人の増（６％）、配分金約１７７１万円で約２００万円の増（11％）、契約金額約２１９９万円で約２１１万円の増（１％）となった。

（対前年比同月比）

～全国統一スローガン～

いつまでも 働く喜び 無事故から

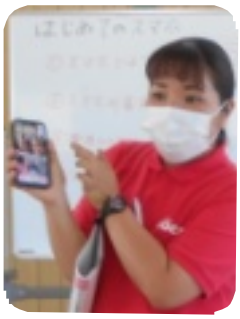
アルコール検知器 前倒しスタート

飲酒運転根絶で無事故と就業の安心安全へ

アルコール検知器による酒気帯びの有無確認が10月１日から義務化されるが、当センターはそれに先駆け、前倒しで７月１日から会員や職員が公用車（センター保有車両）を運転する前と運転後、センター備え付けのアルコール検知器でチェックを開始した。会員らは軽く息を吹きかけ、その呼気に含まれているアルコール濃度を検知器のセンサーで数値化されたものを目視確認するというシステム。安全運転管理者の仲宗根正史事務局長は「車を運転する会員の飲酒運転根絶と無事故で就業の安心・安全を守ることにつなげていきたい」と話した。

らくらくスマホ教室

入門編＆基本編



「らくらくスマホ教室」が７月20・22・27日の３回にわたって、シルバーワークプラザ会議室で開催された。ＮＴＴドコモの協力により出張教室として開催されたもので、ＮＴＴドコモの仲間絵梨奈さんと仲宗根恵さんがインストラクターを務め、10名のシルバー会員が受講。初日と２日目が入門編で「初めてのスマホ」と称して、電源入れ方・切り方など基本操作や画面の見方、文字入力、電話・メールなどの手ほどきを受け、３日目は基本編の検索の仕方やインターネット、カメラ機能などを学んだ。「スマホは興味あるものから入って楽しんでもらいたい。また様々なアプリにチャレンジしていくことで利便性がどんどん広がっていく」と両インストラクターは話した。

今年度５人目の傷害事故発生

急に意識失い転倒で頭負傷

＊**事故内容**：急に意識を失い転倒で頭に傷を負う

＊**発生日時**：令和４年７月８日（金）午前９時頃

＊**発生場所**：中城港湾内幹線道路沿い歩道

＊**事故状況**：午前８時半から作業を開始し、約30分後に当該会員が休憩するため、イスに腰掛けようとしたところ、急に意識を失い前方に転倒した。その際に、頭に数カ所傷を負い、口から泡を吹いている状況で意識はなかった。

＊**事故原因**：当該会員は体調不良のため作業を休んでいた。その後、約10日ぶりに草刈作業に従事したが、身体機能がまだ十分に適応できなかったのではないかと思われる。（担当医の診察結果待ち）

＊**事故後の対応**：意識を失っていたため、同僚会員が当該会員の体を冷やしたり、気道確保のための応急手当等を行うとともに、センター及び家族への連絡、救急車を要請。救急車が到着するまでには応急手当の効果もあって、意識は回復していた。そうした状況の中で中頭病院に救急搬送された。

＊**再発防止策**：常に体調管理を万全にすることに留意し、こまめに水分、塩分補給をすること。また休憩は会員同士の動向が確認できるように、同じ場所でとるようにすること。当面は、30分間隔で（現行40分）作業を行うこととし、その後に休憩をとるよう指示した。

◇８月の予定◇

・10日（水）午前10時　新会員入会説明会
・26日（金）午前10時　第６回理事会
・31日（水）午前９時～　刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育

編集後記

コロナ対策・熱中症予防・危険予知。この３つのキーワードは、安心安全に就業するうえで必須。先の安全・適正就業推進大会でもしきりに強調された。折から、コロナ感染者は下げ止まりどころかまた急激な増大で連日、過去最多を更新するという「第７波」が押し寄せ、猶予ならない事態となっている。私達シルバーを取り巻く状況も、内憂外患が絶えない日々が続く。そんな中、昨年より10日早く旧盆を迎える。行動制限がないままだと、徹底したコロナ対策は欠かせない。ウートートー、ウガンだても必須だ。一方で沖縄の夏はこれからが本番。ウートートー、ウートートー、と念じるしかない。

編　集　東條　正躬
　　大城　博